

レジメン登録申請書

がん(癌)種: 乳癌

申請診療科: 乳腺外科 申請医師: 保科 淑子 内線:

レジメン名称: BC-T-DM1

化学療法委員会医師: 保科 淑子 内線:

	No	薬品名	規格	投与量	投与ルート 手技	点滴時間 速度	day	day	day	day	day	day	day	day	day	day	
							{ 1 }	{ 8 }	{ 15 }	{ 22 }	{ }	{ }	{ }	{ }	{ }	{ }	{ }
化学療法 (抗癌剤)	2	カドサイラ	100mg, 160mg	3.6mg/kg	d.i.v ※1	90分 ※2	○	×	×	次クールへ							
		生理食塩液	250mL	250mL													
※1 投与には0.2または0.22 μmインラインフィルターを通して投与 ※ 2回目以降は忍容性が良好であれば30分まで短縮可							<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>慎重投与 投与基準</p> <p>左室駆出率(LVEF)の低下している患者 心機能低下の恐れのある患者 アントラサイクリン系薬剤の投与歴 胸部への放射線治療中またはその治療歴あり うっ血性心不全もしくは治療を要する重篤な不整脈ありまたは既往有 冠動脈疾患 高血圧症の患者又はその既往歴のある患者 肝機能障害の患者 (AST/ALTが施設基準の2.5倍以内、T-Bilが施設基準の1.5倍以内) 血小板減少のある患者または抗凝固治療を受けている患者</p> </div>										
補助療法								<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>減量基準</p> <p>通常投与量 3.6mg/kg 1段階減量 3.0mg/kg 2段階減量 2.4mg/kg 3段階減量 投与中止</p> <p>減量基準の設定されている副作用</p> <p>1左室駆出率低下 2AST/ALTの増加 3高ビリルビン血症 4血小板減少症 5末梢神経障害</p> </div>									

上記で使用する抗癌剤情報

No	薬品名	規格	標準値	上限値	累積投与量

サマリーコメント(申請理由・趣旨)

ハーセプチン+タキサン系薬剤の治療歴のあるHER2陽性の手術不能又は再発乳がんに対する化学療法。

術前薬物療法により病理学的完全奏功が認められなかったHER2陽性の乳癌における術後薬物療法は投与回数14回まで

1 週投与 2 週休薬

1クールの日数: 21 日

レジメン基準日: day 1

適応外で、倫理委員会・医学研究等の承認を得た場合は資料を添

委員長	事務局	薬剤部

新規 申請日: R2 年 10 月 8 日
 変更

化学療法治療計画書(プロトコール)

がん(癌)種: 乳癌

実施診療科: 乳腺外科

実施医師: 保科 淑子

内線:

レジメン名称: BC-T-DM1

クール数: (術後は14まで) 1 週投与 3 週休薬

身長: cm

1クールの日数: 21 日

体重: kg

患者ID: 患者氏名:

実施部署: レジメン基準日: day 1

体表面積: m²

実施日						月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
No	薬品名	規格	投与量	投与ルート 手技	点滴時間 速度	day (1)	day (8)	day (15)	day (22)	day ()	day ()	day ()	day ()	day ()	day ()	day ()
1	生理食塩液	50mL	50mL	d.i.v	15分	○	×	×	次クールへ							
2	カドサイラ	100mg.160mg	3.6mg/kg	d.i.v ※1	90分 ※2	○	×	×	次クールへ							
	生理食塩液	250mL	250mL													
※1 投与には0.2または0.22 μmインラインフィルターを通して投与 ※ 2回目以降は忍容性が良好であれば30分まで短縮可																
3	生理食塩液	50mL		d..i.v	全開で	○	×	×	次クールへ							

化学療法 (抗癌剤)